

NPO法人京都コミュニティ放送

チーム

チームテーマ

地域をフィールドにラジオ番組をつくろう！

主な活動場所

京都三条ラジオカフェ

チーム紹介

メンバー紹介

西本悠馬 龍谷大学政策学部 2回生

森田愛子 京都女子大学 2回生

秋山紗里奈 京都女子大学 2回生

団体担当者

京都三条ラジオカフェ事務局長

藤本薫様

活動紹介

ラジオ番組の制作

番組名 「キャンパス帰りのきょう散歩」



学生3人が京都の寺町商店街を実際に歩きながら、気になったお店に立ち寄り、店主の方にインタビューを行ったり、食レポをしたりする散歩型のラジオ番組です。散歩中の会話や学生らしい雑談も交えながら、寺町商店街の魅力や地域とのつながりを学生の視点で伝えていきます。

活動紹介



収録の様子



食レポさせていただいたお店



寺町商店街

私たちが感じた魅力

- 商店街のお店の方へのインタビューを通して、普段なかなか聞くことのできない貴重なお話を直接聞くことができる。
- ラジオ制作では、取材・収録・編集などを学生自身で行うため、普段の生活では経験できない活動を体験できる。
- その経験を通して、コミュニケーション力や表現力が身につき、自己成長につなげることができる。

私たちが感じた**団体や地域への影響・成果**

- **学生の視点から商店街を取材し、地域の魅力や課題をメディアを通して発信することができた。**
- **商店街が抱えている問題や現状について、ラジオを通して多くの人に伝えることができた。**
- **活動を通して、自分自身の考えや感じたことを発信する機会になった。**

感想

ラジオ制作を通して、限られた時間の中で自分の伝えたい内容を考えて話すことの難しさを学びました。また、時間内に話を進めながら話題を広げたりまとめたりするなど、普段の会話ではあまり意識しないことを経験することができました。さらに、急に話を振られた際にうまく返答する必要があるなど、ラジオは高いコミュニケーション力が求められる活動だと感じました。(西本)

ラジオを通して、様々な地域の商店街へ取材に行き、商店街の人達の商店街に対する思いや、商店街と地域の繋がりを知り、とても貴重な経験をする事が出来ました。また、1つのラジオ番組を作るという経験は、初めてであり難しさもありましたが、取材・収録といったなかなかできないことを経験でき、多くのことを学べた貴重な体験となりました。(森田)

この活動を通して、自分で考え行動する力が身につきました。活動して始めの頃は、自分で1から考え主体的にかつメンバーと協力して取り組むことに難しさを感じていましたが、メンバーとの距離も縮まっていく中で自分で考えることができるようになり、それを行動に移すことによって達成感を感じることができるラジオが作れたと思います。(秋山)